

今回も出前授業の準備を行いました。

第二回 出前授業検討会

出前授業で子どもたちに何を伝えたいか、班に分かれてアイデアを出しあいました。



← AからCの3班に分かれて作業を進めます
↓ C班は各自が付箋に書いたクエッションを、内容別にフィッシュボーンの形に分類しました。



各班の話し合いをまとめるとこのようになりました。

C班：学年によって理解度が異なることから、まずは小学校

5年生を対象と想定しました。簡単なQ&Aをたくさん作ることにして、各自が付箋にクイズを書き、それを「人物像」や「趣味」といった大きなテーマ別に分類しました。

B班：群馬県の風土や人物を詠み込み、県民に親しまれている「上毛かるた」のように、原三溪をテーマにしたかるたの作成を提案しました。小学校の指導要領に「郷土の時間」があるので、そこで使ってもらえないかという想定です。

A班：まずは出前授業にどのような必要があるのかを調査する必要があると考えました。横浜市で使われている副読本『わかるヨコハマ』では、震災復興のところで原三溪が取り上げられています。港の発展や生糸貿易の切り口から紹介してはどうかと考えてみました。



原三溪翁のお墓参り

8月16日の三溪翁の命日を前に、有志で久保山墓地へお墓参りに行きました。天気予報は雨でしたが、この日は降られずに済みました。

← 三溪翁のお墓は五輪塔です。近くに原善三郎ともんの墓、原元三郎とやゑの墓もあります。